



暑中お見舞い申し上げます

毎日厳しい暑さが続いています。「今日の最高気温35度」と聞いてもさほど驚かなくなりました。この暑さはまだまだ続きそうです。みなさん、熱中症対策は万全にしておきましょう。

5人に2人は非正規労働者の衝撃

2012年就業構造基本調査によると、非正規労働者の総数(推計)は2042万人と初めて2千万人を超え、雇用者全体に占める割合も38.2%となり、正社員が中心だった雇用形態が大きく変化しています。正規職員と同じように仕事をして雇用条件は悪いです。

岡山市も非正規職員が増えている

岡山市の職員数状況は、2010年正規職員5877人、非正規職員1451人、総数7328人、2011年正規職員5825人、非正規職員1574人、総数7399人、2012年正規職員5786人、非正規職員1653人、総数7439人となっています。3年間で正規職員が91人減り、非正規職員が202人増えています。岡山市の非正規職員の割合は、2010年から19.8%、21%、22%と年々増加しています(職員OBと育休・病休の代替は除く)。

つまり、岡山市では正規職員を減らして人件費を抑制しつつ、非正規職員を増やしています。

当局のメリットは、非正規職員の賃金は物件費(コスト)として算定されるため、人件費は、臨時職員が増えても増加せず、正規職員の補充に時給制で低賃金、かつ長期間勤務しても昇給しない非正規職員をあてることで人件費のコスト削減がはかれるのです。

福祉と教育に関わる職員の非正規化が進んでいる

保健福祉局の中では、保育園の正規保育士573人(2010年から3年平均)に対して臨時職員249人です。保育士の3人に1人は「臨時さん」という状況にあります。教育委員会では、2011年正規職員863人、非正規職員902人、2012年837人と929人、2013年811人

と969人と非正規職員のほうがどんどん多くなっています(教職員は除く、職員OBと育休・病休は含む)。教育委員会には、学校給食や用務員、図書館や公民館などがあり、非正規職員数が多くなっています。幼稚園教諭も毎年50人前後の臨時職員を雇用しています。子育て環境をよいものにするために、安定した雇用の正規職員を配置するべきだと思います。

生活の安心には雇用の安定

安定した雇用があつてこそ、社会の将来に希望を抱くことができます。「5人に2人は非正規労働者」という現実、皆さんの周りや身内に非正規労働者が必ずいるという数字です。この社会の将来に希望を持てるといえるでしょうか。賃金をコストとみなせば、きりのないコスト削減が繰り返されます。

岡山市は、この流れを断ち切り、市民が安心して暮らせるために、正規職員を非正規職員へ置き換えていくことをやめ、非正規職員を正規職員にしていくべきです。

正規雇用を増やすアベノミクス

参議院選挙は自民党の圧勝に終わり、アベノミクスへの国民の期待の大きさが示されました。私は、アベノミクスが、きちんと正規雇用を増やす結果を出してもらいたいと思います。

市政報告会

このみフォーラム

と き：9月1日(日) 14:00～16:00

ところ：岡山市立東公民館(岡山市中区高屋)

市政について下市このみがお話します。
皆さまお誘い合わせの上、お越し下さい。

下市このみ事務所からのお知らせ

- ▼ 8月6日(火)映画鑑賞会
10:00～12:00 下市このみ事務所
- ▼ 8月20日(火)まちづくり～おしゃべりネット♪
「市場見学会」
10:30 岡山中央卸売市場集合
- ▼ 9月1日(日)このみフォーラム
14:00～16:00 岡山市立東公民館